

アジアの消費者団体との連携強化と国際的な消費者問題の取り組み

インターネットの普及に伴い、国境なき消費者被害も増加する中、2000年代に入って特に国際的な連携強化が言われています。全国消団連・国際消費者問題研究会では、CIの課題やISO/COPOLCOへの対応について学習や意見交換をするとともに、ISOやCodex (FAOとWHOが合同でつくる国際的な食品規格。その計画の実施機関がCodex委員会) など消費者にかかわる国際的な意思決定の場への意見表明等の取り組みを行っています。

また、海外の消費者団体との活動交流や政策研究では、EU日本消費者対話や日独消費者対話、北東アジア消費者団体交流会に取り組み、05年3月第3回EU日本消費者対話をベルギーのブリュッセルで開催しました。9月の第2回北東アジア消費者団体交流会は東京で開催され、北東アジア地域での食品の安全の確保や消費者被害の救済、環境問題などの取り組みをめぐり意見交換を行いました。

全国消団連のあゆみ

- 2月 「検証!独占禁止法改正案 とことん討論第2弾」
- 3月 表示学習会「食品表示ラベルからのメッセージ」
第3回EU日本消費者対話(ブリュッセル)
事例からみた特定商取引法検討会(経済産業省・全国消団連)
シンポジウム「地方自治体の消費者行政を考える」
- 4月 学習会「告知義務違反から見える生命保険」
- 5月 「消費者団体訴訟制度の導入をめざす5.20集会」
- 7月 PLオンブズ会議報告会「消費者は救済されているのか」
第3回消費者団体交流会
BSE学習会「アメリカの牛肉をめぐる状況について～牛肉輸入再開問題を考える」
- 9月 第2回北東アジア消費者団体交流会(東京)
- 11月 第44回全国消費者大会

社会の動き

- 1月 偽造キャッシュカードによる預金不正引き出し
- 2月 京都議定書(CO₂削減国際ルール)発効
明治安田生命保険金支払いの不適切な取り扱いに業務停止
- 3月 食糧・農業・農村基本計画閣議決定
- 4月 消費者基本計画決定
- 6月 食育基本法公布
悪質リフォーム工事商法
- 7月 アスベスト被害
- 11月 マンション・ホテルの耐震強度偽装問題
生命保険、損害保険の不当不払い発覚
- 12月 米国産牛肉等のリスク評価について食品安全委員会より答申
米国・カナダ産牛肉等の輸入再開決定

消費者の国際的取り組みの前進を!

MESSAGE

全国消団連の創立50周年、おめでとうございます。

コンシューマーズコーリアを代表し、またISO消費者政策委員会の議長として、お祝いのご挨拶を述べさせていただくことを大変うれしく思います。



CKコンシューマーズコーリア 会長

キム・ジェイオク

この50年間、全国消団連の日本における消費者の権利の保護と向上をめざす活動は大きな成果をおさめてきました。21世紀は消費者にとって、貿易問題や持続可能な消費、安全、社会的責任、倫理など新しい問題が発生し複雑な時代となるでしょう。消費者の権利保護のため、私たちは共に活動し、情報を共有化する必要があります。

アジアの消費者運動をリードするため、他のアジアの消費者団体とより活動を密にし、世界の消費者の権利の確立のために、より積極的に活動されることを期待いたします。

用語解説

CK (Consumers Korea)

韓国の消費者団体連絡会。独自に消費者相談や会員向け雑誌の発行を行っている。

2004年9月の第1回北東アジア消費者団体交流会(ソウル)では、ホスト団体として、北東アジア地域の消費者団体が活動交流し、結束するためにも毎年の開催が必要だとの見解をまとめた。

キム・ジェイオク(Kim Jae OK)氏は、CKの会長であるとともにCIの理事、ISO/COPOLCO(消費者政策委員会)議長も務める。



● 第3回 EU 日本消費者対話 2005.3(ベルギー・ブリュッセル)